
【第13回非常時における事業者間ローミング等に関する検討会】

事業者間ローミング検討状況報告

報告日：2024/5/28

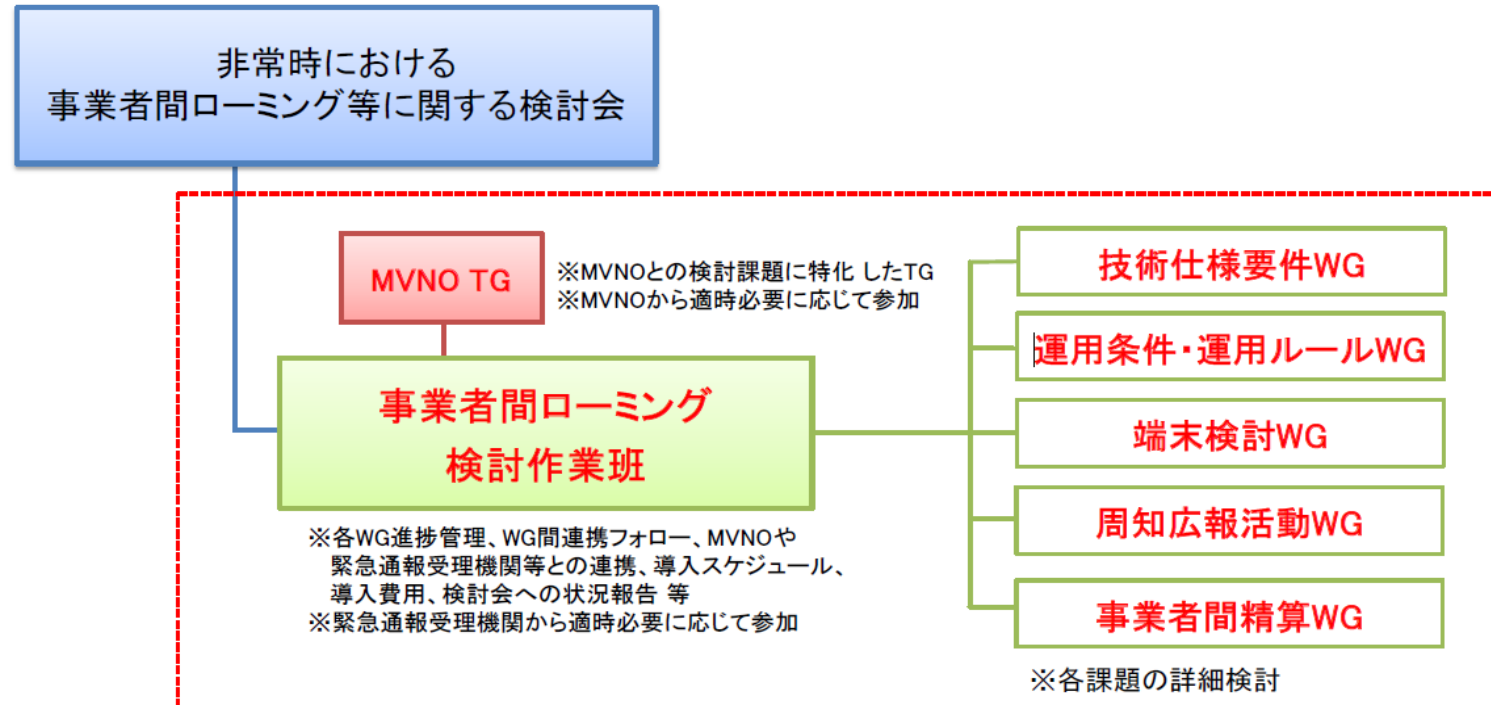
事業者間ローミング検討作業班

1. 作業班について

本作業班は、「非常時における事業者間ローミング等に関する検討会」（以下、「検討会」という。）の下に開催される作業班として、事業者間ローミングに係る検討をすることを目的に、第6回検討会での承認に基づき開催中。現在、『フルローミング方式』および『緊急通報のみ方式』の実現に向けて、一般社団法人 電気通信事業者協会、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社、沖縄セルラー電話株式会社の担当者および総務省を構成員として開催。

2023年11月からMVNO-TGとして、フルMVNO 4社（株式会社インターネットイニシアティブ、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、丸紅ネットワークソリューションズ株式会社、株式会社ソラコム）も参加し検討実施中。

※ MVNO-TGの報告は別途



■ 事業者間ローミング検討作業班

主査	TCA	金子 純二
副主査	ドコモ	竹内 宏司
副主査	総務省	生天目 翔

2. 作業班の開催状況について

■現時点までの開催状況（～2024/5/27時点）

【作業班】

- ・ 2023年1月正式発足以降、基本第2,4金曜日を開催日として推進中。
- ・ 作業班メンバーに加えて、各WG参加。
- ・ 現時点までにキックオフを含め、計31回 開催（前回報告時比+4回）

【WG】

- ・ 全WG 計 255回（前回報告時比+34回）の会議開催に加え、メール調整等により活動を推進。
- ・ 会議には必要に応じて作業班・各WGから相互参加し情報連携。

《会議開催内訳》

➤ 作業班	… 27 回 開催（メンバー：10名＋全WG参加）
・ 技術仕様要件WG	… 59 回 開催（メンバー：75名）
・ 端末検討WG	… 59 回 開催（メンバー：63名）
・ 運用条件・運用ルールWG	… 40 回 開催（メンバー：67名）
・ 事業者間精算WG	… 41 回 開催（メンバー：45名）
・ 周知広報活動WG	… 23 回 開催（メンバー：13名）

3. 作業班の課題について

■現時点までの検討状況（～2024/5/27時点）

【課題】

- ・各WGにて、事業者間ローミング実現に向け検討すべき課題を実施（全WG 計 **196** 項目 ※前回比+ **3** ）
 - 技術仕様要件WG … **43** 項目（前回比± **0** ）
 - 端末検討WG … **37** 項目（前回比+ **1** ）
 - 運用条件・運用ルールWG … **49** 項目（前回比+ **2** ）
 - 事業者間精算WG … **38** 項目（前回比± **0** ）
 - 周知広報活動WG … **29** 項目（前回比± **0** ）

※ 適宜、検討結果を踏まえ、項目追加／削除があった場合は反映。

【今後のスケジュール】

- ・2025年度末での実現予定を目指し、現時点でサービス開始に向けて継続推進中。
 - ※ 緊急通報の発信だけを可能とするローミング方式についても同時期にサービス開始できないか並行調整中。

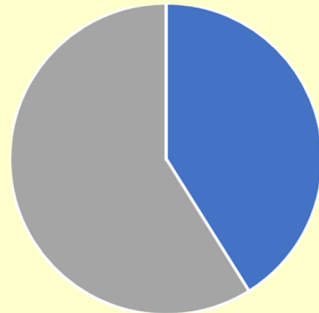
3. 作業班の検討状況について（内訳）

追加課題・項目増等により、一層、厳しくなっている部分はあるも、詳細スケジュールの組み直し等によってサービス開始時期に影響を出さないよう工程再編含め調整中。

➤ 全体（前回比 ※全WG総計） 課題合計：196（±3）

【状況内訳】

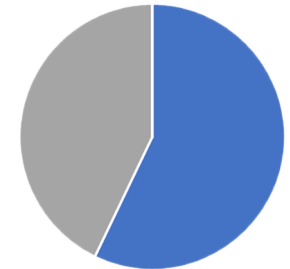
■ 遅延無し	81件（+3）
■ 遅延有	0件（±0）
■ 完了	116件（±0）
■ その他	0件（±0）



➤ 運用条件・運用ルールWG 課題合計：49（+2）

【状況内訳】

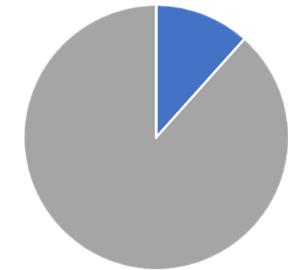
■ 遅延無し	28件（+2）
■ 遅延有	0件（±0）
■ 完了	21件（±0）
■ その他	0件（±0）



➤ 技術仕様要件WG 課題合計：43（±0）

【状況内訳】

■ 遅延無し	5件（±0）
■ 遅延有	0件（±0）
■ 完了	38件（±0）
■ その他	0件（±0）



➤ 事業者間精算WG 課題合計：38（±0）

【状況内訳】

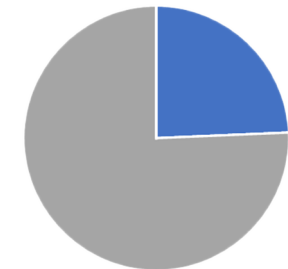
■ 遅延無し	13件（±0）
■ 遅延有	0件（±0）
■ 完了	25件（±0）
■ その他	0件（±0）



➤ 端末検討WG 課題合計：37（+1）

【状況内訳】

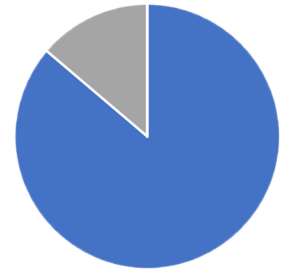
■ 遅延無し	9件（+1）
■ 遅延有	0件（±0）
■ 完了	28件（±0）
■ その他	0件（±0）



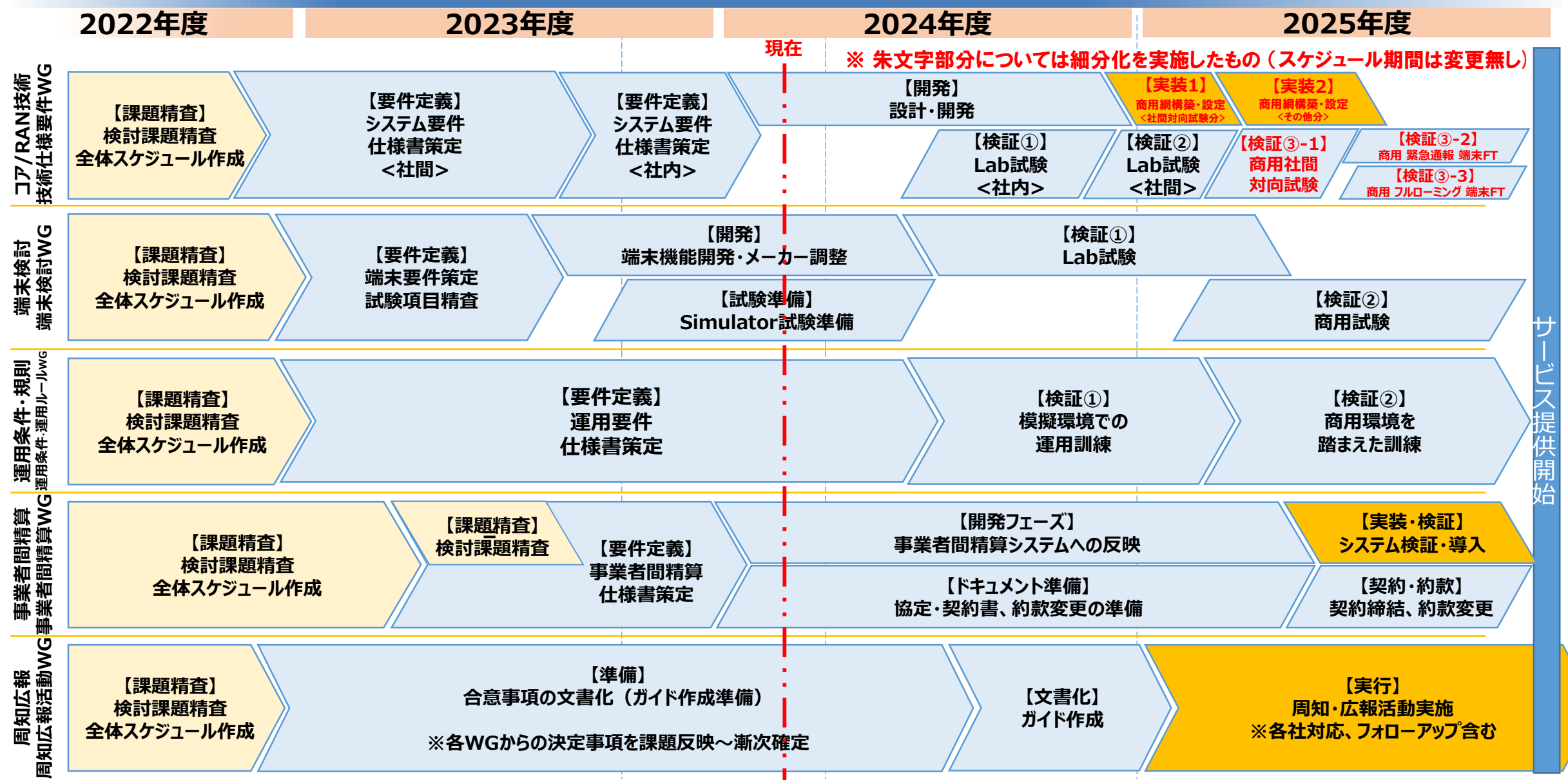
➤ 周知広報活動WG 課題合計：29（±0）

【状況内訳】

■ 遅延無し	25件（±0）
■ 遅延有	0件（±0）
■ 完了	4件（±0）
■ その他	0件（±0）



4. 作業班の検討状況について（全体スケジュール）



サービス提供開始

【参考資料】

各WG状況詳細

技術仕様要件WG

主査
主査補佐
副主査
副主査補佐

ドコモ
ドコモ
KDDI
KDDI

岩井 遼太
高橋 優元
小松 優
花井 祐介

【技術仕様要件WG】進捗報告

大項目課題 43件 小項目課題では300件の検討を実施中
MVNOとの詳細技術仕様について議論を開始

■現在の状況（2024/5/27時点）

WGメンバー数	:	計75人
開催回数	:	計67回
課題数	:	計43項目
	:	【状況内訳】
		・遅延無し 5件
		・遅延有り 0件
		・完了済 38件
		・その他 0件

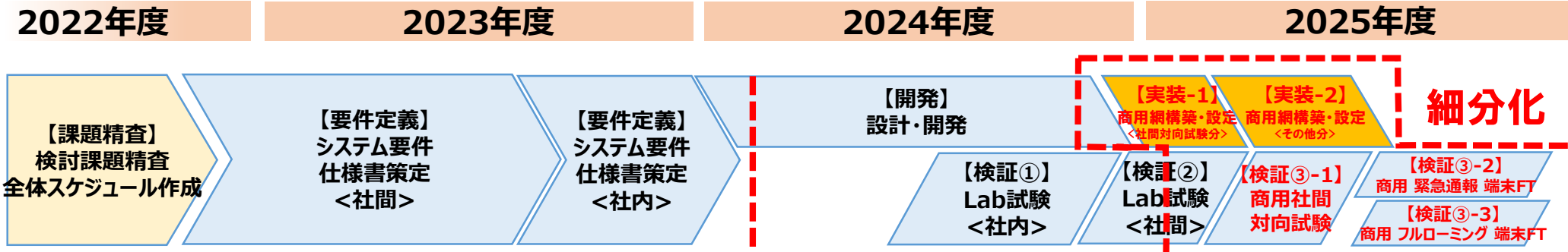
【特記事項】

・特に無し

【技術仕様要件WG】スケジュール

商用試験へ向け、スケジュールの細分化を実施。※期間の変更は無し

全体工程概要



サービス提供開始

主な工程概略

	2022年度			2023年度												2024年度												2025年度													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
接続仕様書作成																																									
サービス要件の決定																																									
接続構成の決定																																									
以降方式課題																																									
事業者選択方式																																									
ローミングの開始終了制御																																									
緊急通報ローミング（認証有）																																									
緊急通報ローミング（認証無）																																									
一般呼制御方式																																									
優先制御方式																																									
当局対応機能検討																																									
保守機能																																									
プロトコル仕様																																									
MVNO接続方式																																									
以降開発・検証課題																																									
社内検討・設計・製造																																									
社内Lab検証																																									
試験仕様書の作成																																									
社間Lab検証																																									
商用試験																																									

端末検討WG

主査
主査補佐
副主査
副主査補佐

ソフトバンク
ソフトバンク
ドコモ
ドコモ

西山 真司
谷 明彦
橋本 研司
飯塚 洋介

【端末検討WG】進捗報告

事業者間で『端末機能要件』・『端末動作試験内容』・『試験環境』の整理を完了
今後は拡大分科会内にて端末メーカー等も含めた内容すり合わせを実施中

■現在の状況（2024/5/27時点）

WGメンバー数	:	計65名
開催回数	:	計67回
課題数	:	計37項目（前回比 +1）
	:	【状況内訳】
		・遅延無し 9 件
		・遅延有り 0 件
		・完了済 28件
		・その他 0 件

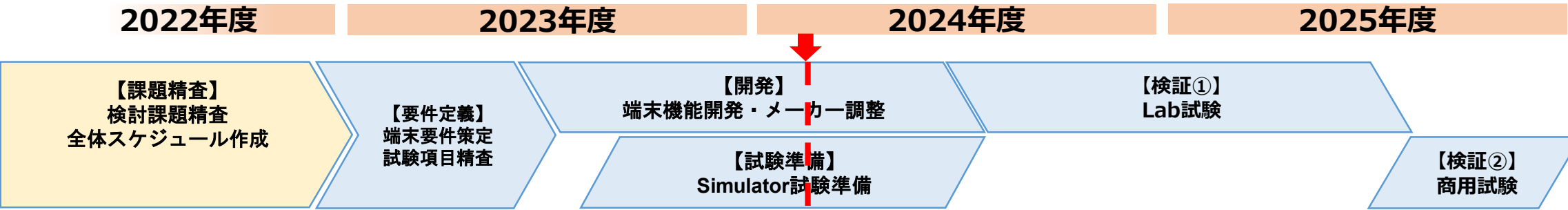
【特記事項】

- ・ 2023年12月より拡大分科会が開催され、端末/チップセットメーカー及び測定器メーカー等と、端末・ネットワークの相互接続性確保を目的とした協議を実施中。

【端末検討WG】スケジュール

拡大分科会において、端末及びチップセットメーカー、測定器ベンダーに対して『端末機能要件』および『端末動作試験内容』『試験環境』の方針説明及びQA対応を実施中（12月～）

全体工程概要



サービス提供開始

主な工程概略

	2022年度			2023年度												2024年度												2025年度											
項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Sinまでの線表作成																																							
NW選択方式決定																																							
端末実装調査																																							
端末新規要件策定																																							
新規機能開発/実装																																							
端末要件Scope整理																																							
端末検証Scope整理																																							
端末検証対象精査																																							
検証環境条件精査																																							
端末検証試験内容精査																																							
Simulator構築																																							
Lab検証																																							
NW機能開発																																							
商用NW構築																																							
商用検証																																							
トラブルシュート																																							
検証結果周知広報																																							

運用条件・運用ルールWG

主査	KDDI	毛利 政之
主査補佐	KDDI	中井 庸二
主査補佐	KDDI	佐藤 晃一
副主査	ソフトバンク	鈴木 和幸

【運用ルールWG】進捗報告

技術仕様要件WGで現在議論されている仕様（システム要件、端末要件）を踏まえ、運用ルールを策定
今後、要件内容により、課題の変化・追加等が発生する可能性あり

■現在の状況（2024/5/27時点）

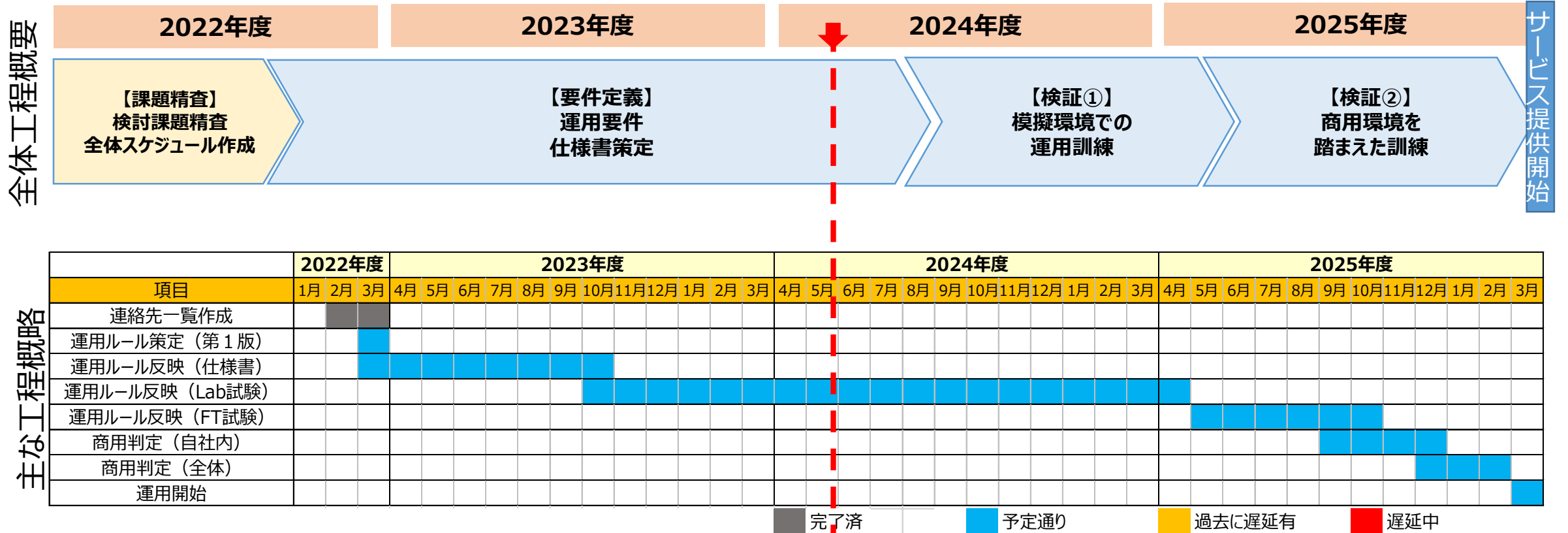
WGメンバー数	:	計71人
開催回数	:	計46回
課題数	:	計49項目（前回比 +2）
	:	【状況内訳】
		・遅延無し 28件
		・遅延有り 0件
		・完了済 21件
		・その他 0件

【特記事項】

- ・能登半島地震を踏まえた事業者間ローミングによる補完性について議論を実施。
- ・発動条件の整理（他社トラフィックをどこまで受け入れるのか、規制のかけ方）について整理中。

【運用WG】スケジュール

今後のシステム要件仕様や、開発・検証フェーズで出た点を適宜反映し、商用導入可能かを判定したうえで運用開始とする



事業者間精算WG

主査	KDDI	渡邊 昭裕
主査補佐	KDDI	田中 大介
副主査	ドコモ	夏目 基
副主査補佐	ドコモ	清水 貴志

【事業者間精算WG】進捗報告

NW利用料のうち、制御信号等の費用について検討中。

■現在の状況（2024/5/27時点）

WGメンバー数	:	計 45 人
開催回数（期間： ～2024/5/27）	:	計 44回
課題数	:	計 38 項目
	:	【状況内訳】
		・遅延無し 13 件
		・遅延有り 0 件
		・完了済 25 件
		・その他 0 件

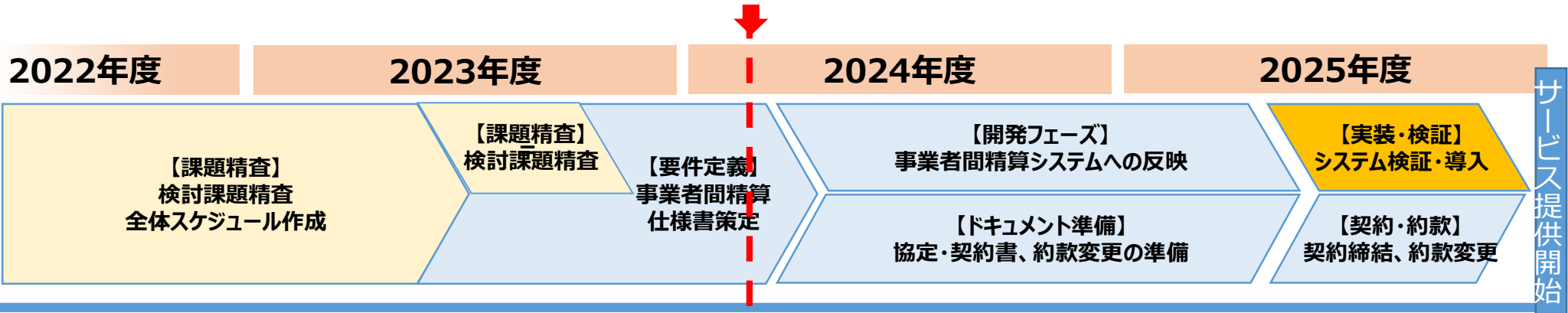
【特記事項】

なし

【事業者間精算WG】スケジュール

事業者間精算仕様書作成を作成中。

全体的工程概要



主な工程概略

	2022年度			2023年度												2024年度												2025年度											
項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前提の整理																																							
精算項目の整理																																							
課題洗い出し																																							
課題検討																																							
事業者間精算仕様書案作成																																							
事業者間精算システム要件策定																																							
事業者間精算システム反映																																							
事業者間取り交わし文書策定																																							
公表文書（約款等）策定																																							
事業者間精算システムリリース																																							
事業者間精算対向試験																																							
事業者間取り交わし文書締結																																							
届出（必要に応じ）																																							
公表文書（約款等）公開																																							

周知・広報活動WG

主査
主査補佐
副主査
副主査補佐

楽天モバイル
楽天モバイル
ソフトバンク
ソフトバンク

川口 永久
地崎 彬
杉本 篤史
井藤 幸二郎

【周知・広報活動WG】進捗報告

国のガイドライン^注や、実績のある周知広報に沿った周知広報を予定しています

■現在の状況（2024/5/27時点）

WGメンバー数	:	計13人
開催回数	:	計31回
課題数	:	計29項目
	:	【状況内訳】
		・遅延無し 25件
		・遅延有り 0件
		・完了済 4件
		・その他 0件

【特記事項】

- ・ 2024年3月下旬より、検討を本格開始
- ・ 平時の周知と、有事の周知に大きく区分して、検討する
- ・ 有事においては、「代替的に利用可能な通信手段とそれらの利用方法」^注の一つとして周知を行う

^注（『電気通信サービスにおける障害発生時の周知・広報に関するガイドライン』3章（1）⑥）

【周知・広報活動WG】スケジュール

判明している要実施事項を手掛かりに、周知広報の概要を検討中。
併せて、今回、詳細スケジュールの見直しを実施 ※全体工程への変更はなし

全体工程概要



主な工程概略

WGのタスク					2022年度			2023年度												2024年度												2025年度															
区分	属性	課題番号	項目	フェーズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
課題特定	課題再精査	-	課題再精査	課題特定																																											
	課題追加精査	-	課題追加精査（S-in前後のフォロー含む）	課題更新																																											
基本事項 （平時）	周知項目	1-5	基本項目 1開始・終了/2場所/3代替手段/4料金/5対応端末	課題更新																																											
		6	ローミングの実績	文書化・実行																																											
	時点毎対応	7	時点に応じた特有事項の整理	課題更新																																											
	媒体	8	周知媒体の整理	課題更新																																											
	媒体通じた手段	9	障害状況の可視化（GISデータの提供含む）	課題更新																																											
	ガイド文書維持管理	10	作業班終了後のガイド文書の維持管理方法	課題更新																																											
その他事項 （平時）	インローマ	11	海外インローマ向け周知（平時＆有事）	課題更新																																											
	法人との契約	12	一般的事項（要否含め）	文書化・実行																																											
		13	MVNO向け周知（平時・有事）－接続又解約款締結先	課題更新																																											
		14	IoT機器事業者（平時・有事）	課題更新																																											
		15	その他事業者（平時・有事）－“会社の携帯電話”など	課題更新																																											
制_開始時 （平時）	周知先毎対応	16	1緊急機関向け説明（制限事項の落とし込みなど）	課題更新																																											
		17	2報道機関向け説明（プレスリリース、説明会等）	文書化・実行																																											
	対象・手段	18	利用者向け制度開始周知	課題更新																																											
平時	啓発	19	啓発活動の整理（アプリ実装ならその操作）	課題更新																																											
		20	継続的かつ効果的な周知広報についての具体的方策	文書化・実行																																											
		21	利用者参加型訓練の整理（要否含め）	課題更新																																											
	更新	22	平時：周知情報更新の整理	課題更新																																											
有事	更新	23	報道機関向け連絡・情報更新の整理	課題更新																																											
		24	有事：周知情報更新の整理	文書化・実行																																											
	社内経路	25	お客様申告対応の整理	課題更新																																											
	周知先毎対応	26	1総務省向け連絡と情報更新の整理	課題更新																																											
		27	2緊急通報受理機関対応の整理	課題更新																																											
事後		28	3その他行政機関への連絡・情報更新の整理	課題更新																																											
	詳細未定	29	実績の開示など必要な事項を整理する	文書化・実行																																											

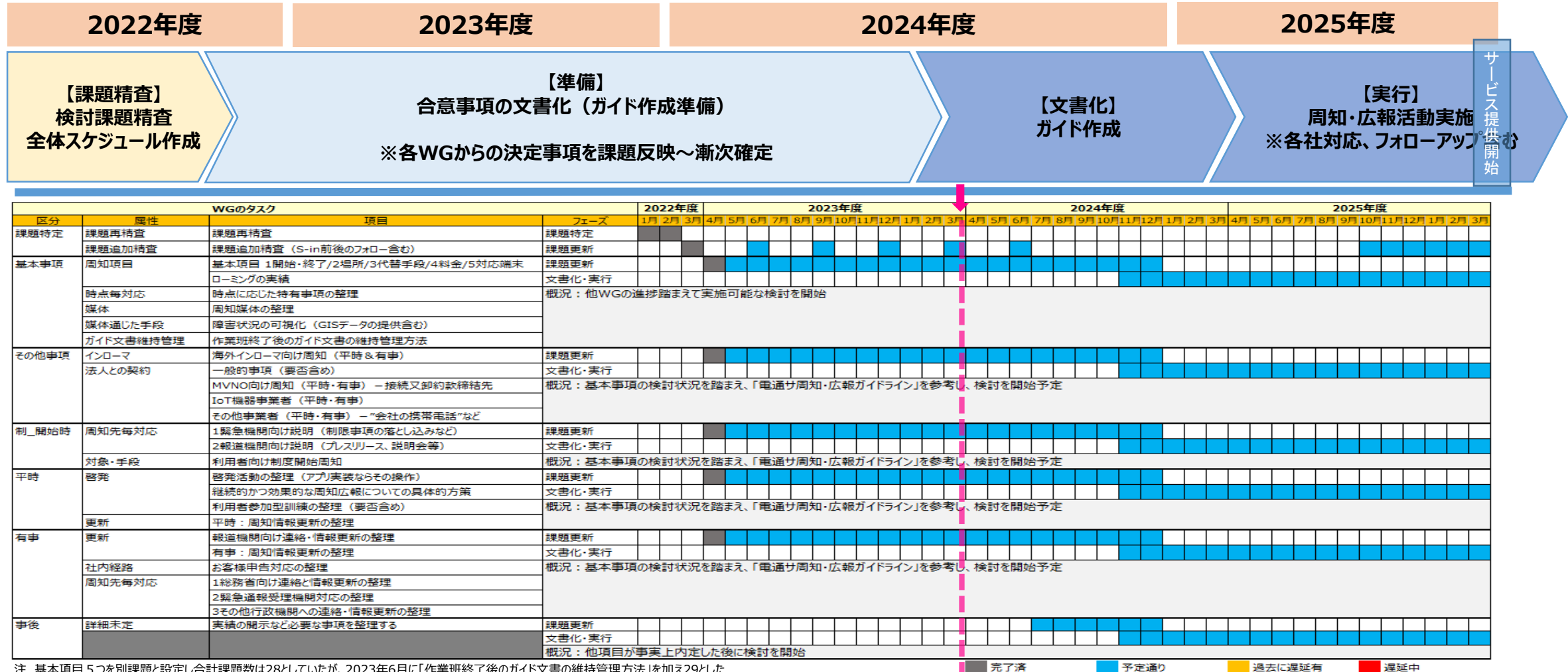
注 基本項目 5つを別課題と設定し合計課題数は28としていたが、2023年6月に「作業班終了後のガイド文書の維持管理方法」を加え29とした
注 「緊急通報の発信だけを可能とするローミング方式」は、仕様などの確定後に上記工程に含めて検討する予定である

完了済 予定通り 過去に遅延有 遅延中

【ご参考】前回までのスケジュール

全体工程概要

主な工程概略



注 基本項目 5つを別課題と設定し合計課題数は28としていたが、2023年6月に「作業班終了後のガイド文書の維持管理方法」を加え29とした
注 「緊急通報の発信だけを可能とするローミング方式」は、仕様などの確定後に上記工程に含めて検討する予定である

サービス提供開始

※

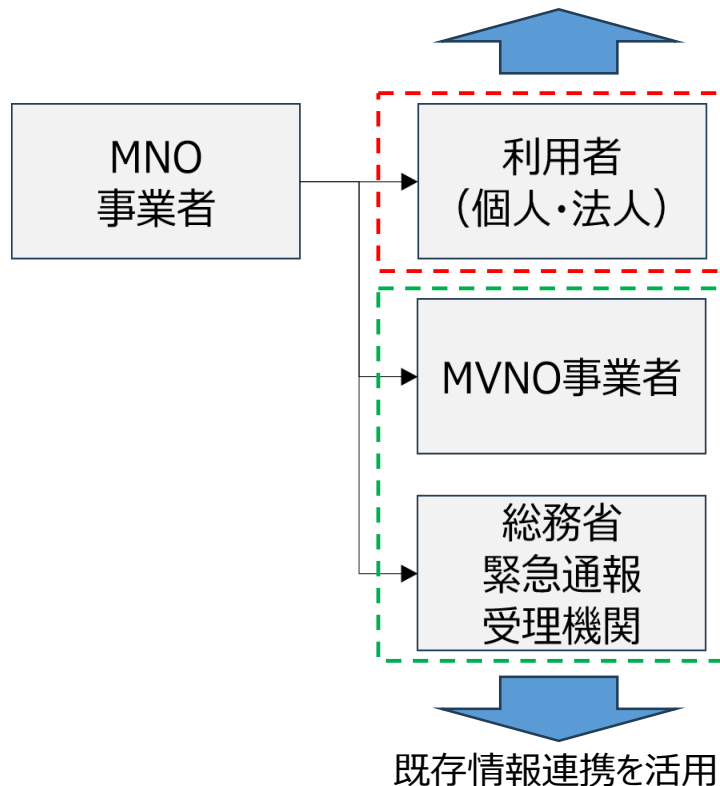
【ご参考】周知広報活動検討の方向性（案）

利害関係者の意見の効果的かつ効率的な集約を図るため、検討のための骨子をおき、具体的な周知広報事項を検討していく

【利用者】に向けた周知広報で伝えるべき事項

- ・自動で事業者間ローミングで救済されたご利用者様
 - ・手動で事業者間ローミングを接続する必要があるご利用者様
- ・・・ 事業者間ローミングを利用中であることを知り得ること。
 - ・・・ 手動選択（手動による利用開始）の方法を理解しており、必要に応じて接続ができること。

上述内容を達成すべき目的とする。



■方向性

- (1) 利用できる環境にある御利用者様が、確実に利用できるようにする
⇒ 手動選択（手動による利用開始）が必要な方が、問題無く、「利用できる」ようにする等
- (2) 伝え方として「利用できること」を軸にお伝えする
⇒ 情報の正確性や複雑性回避(わかりやすさ)の観点等から、「出来ないこと」の掲載を軸とせず、「出来ること」を先ずは明確に伝えていく。
- (3) 検討にあたっては、具体的な周知場面・状況（接点・範囲・人）を想定し周知広報を行う。
⇒ 平時、有事、環境等

■スケジュール

25年 6月末：ガイド文書作成